

【教育委員会事務局 行動指針】

**豊かな学びを深めてふるさとを愛する人づくり**

**～ 協働 挑戦 創造 そして未来へ ～**

自ら、挑戦・創造の機運を高め、  
 学校や地域とのつながりを大切に、  
 チーム教育で「宮津の新しい教育の創造」を進めます

No.	組 織 目 標	ページ
1	生涯にわたる多様な学習機会の拡充	1
2	人権教育・啓発の推進	2
3	家庭や地域の教育力の向上	3
4	ふるさとみやづ学の構築（生涯にわたるシビックプライドの育成）	4
5	質の高い学力を育成する	5
6	たくましい身体を育成する	7
7	教育環境を充実する	8
8	歴史文化資源の調査・価値づけ・保存	10
9	歴史文化を学び親しむ機会の創出	11

令和4年度 運営目標

1	生涯にわたる多様な学習機会の拡充	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 休み続けられる まちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p> </div> </div> <p><b>【施策】</b> 各地区公民館において、住民のニーズや現代的課題に関する各種講座、子どものびのび体験活動・人権学習等を実施するほか、健康づくり事業（ウォーキング、体操等）の定着を図る。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○公民館の利用者数 R4 4.3万人（総計実施計画目標数値）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①子どものびのび体験事業の実施 各地区公民館2回以上</li> <li>②人権学習の実施 各地区公民館 1回以上</li> <li>③健康づくり事業 各地区公民館 月1回の実施</li> <li>④小学生と大学等との交流学习事業の実施 3回</li> <li>⑤各地区公民館長・主事と連携し、学習内容の指導、助言を行う。</li> <li>⑥大学等との連携・協働による教室・講座の開催</li> </ol>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○公民館の利用者数 R4 4.3万人（総計実施計画目標数値） ・年度末に集計のため、現時点では未集計</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①子どものびのび体験事業の実施 各地区合計 25回</li> <li>②人権学習の実施 各地区合計1回 (宮津5地区合同実施)</li> <li>③健康づくり事業 各地区合計 22回</li> <li>④小学生と大学等との交流学习事業の実施 1回 ・養老地区犀川生き物探検：宮津天橋高校参加 ・11月6日 上宮津地区公民館、宮津天橋高校と共同で、農業文化祭・廃校プロジェクトを開催</li> <li>⑤各地区公民館長・主事と連携し、学習内容の指導、助言を行う。 ・館長・主事会の実施（年3回）</li> <li>⑥大学等との連携・協働による教室・講座の開催 ・未実施：舞鶴高専と夏休みに合同で中央公民館事業を計画したが、申込が少なく中止。（冬休み等の実施を検討）</li> </ol>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○公民館の利用者数 R4 4.3万人（総計実施計画目標数値） ⇒ 2.5万人</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①子どものびのび体験事業の実施 各地区合計 101回</li> <li>②人権学習の実施 各地区合計1回 (宮津5地区合同実施)</li> <li>③健康づくり事業 各地区 150回</li> <li>④小学生と大学等との交流学习事業の実施 2回 ・養老地区犀川生き物探検：宮津天橋高校参加 ・11月6日 上宮津地区公民館、宮津天橋高校と共同で、農業文化祭・廃校プロジェクトを開催</li> <li>⑤各地区公民館長・主事と連携し、学習内容の指導、助言を行う。 ・館長・主事会の実施（年3回）</li> <li>⑥大学等との連携・協働による教室・講座の開催 ・未実施：未実施：舞鶴高専と夏休みに合同で中央公民館事業を計画したが、申込が少なく中止。</li> </ol>
	<p><b>【施策】</b> 上宮津地区公民館を旧上宮津小学校へ移転する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○令和5年3月までに実施設計完了</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地元移転委員会との協議、調整</li> <li>②移転工事実施設計の実施（9月補正予算化）</li> </ol>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○令和5年3月までに実施設計完了 ・3月末工期で発注</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地元移転委員会との協議、調整 ・移転についての合意 ・間取り等の調整</li> <li>②移転工事実施設計の実施（9月補正予算化） 9月補正で予算措置済み 10月20日入札</li> </ol>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○令和5年3月までに実施設計完了 ⇒ 令和5年3月末実施設計完了</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地元移転委員会との協議、調整 ・令和4年度、現地調査含め4回実施</li> <li>②移転工事実施設計の実施（9月補正予算化） 9月補正で予算措置 10月20日入札 3月末完了</li> </ol>
	<p><b>【施策】</b> 移動図書館車による地域、学校等への訪問や地区公民館(図書室)の活用を通じ、市民が図書に親しむ機会を充実するとともに、中高生向けの推薦図書リストの活用や中高生の選書図書コーナーの設置等により、中高生の読書活動を推進する。</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民一人あたりの図書貸出数 R元 9.4冊 → R4 10冊</li> <li>○中高生の図書館利用率 R元 964人/年 → R4 1,000人/年</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民一人あたりの図書貸出数 R元 9.4冊 → R4 7.6冊</li> <li>○中高生の図書館利用率 R元 964人/年 → R4 559人/年</li> </ul>

		<p><b>【達成すべき指標】</b>  ○市民一人あたりの図書貸出数 R元 9.4冊 → R4 10冊  ○中高生の図書館利用率 R元 964人/年 → R4 1,000人/年</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>  ①各地区公民館、学校との連携を図り、図書に親しむ機会の充実を図る。  ②中高生との連携(中高生の利用率向上)  中高生おすすめ本コーナーの設置 高校 3回、中学校 2回  ③(観光)ビジネス支援図書リストの作成  ④障害のある方へのサービスの充実  ⑤対面朗読による障害のある方への図書館利用推進  ⑥これからの時代に求められる図書館像についての調査・研究をまとめる。  ⑦府立図書館等との連携の強化</p>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>  ①各地区公民館との連携：未実施  学校との連携：移動図書館者での訪問実施 12回  ②中高生との連携(中高生の利用率向上)  高校生 1回(7/16～9/28)  中学生 1回(2校同時開催9/30～11/23)  ③(観光)ビジネス支援図書リストの作成  ・3月作成予定(観光ビジネスに特化している豊岡市の芸術文化観光専門職大学図書館を視察予定)  ④障害のある方へのサービスの充実：未実施  ⑤対面朗読による障害のある方への図書館利用推進  ・未実施(本年度、京都府立図書館が「図書館のバリアフリー計画」を策定予定。計画との整合性を図り実施)  ⑥これからの時代に求められる図書館像についての調査・研究をまとめる。：未実施(12月から3月)  ・子ども読書推進計画の中間年として、児童生徒にアンケートの実施と集計を実施  ⑦府立図書館等との連携の強化  ・府立図書館の電子書籍の小中学校へのアカウントの依頼、配架本の増冊などの依頼など協議中</p>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>  ①各地区公民館との連携：未実施  学校との連携：移動図書館者での訪問実施 23回  ②中高生との連携(中高生の利用率向上)  高校生 3回(宮津天橋、海洋、京都暁星)  中学生 1回(2校同時開催9/30～11/23)  ③(観光)ビジネス支援図書リストの作成：未実施  ④障害のある方へのサービスの充実：未実施  ⑤対面朗読による障害のある方への図書館利用推進  ・未実施  ⑥これからの時代に求められる図書館像についての調査・研究をまとめる。：未実施  ⑦府立図書館等との連携の強化  ・府立図書館の電子書籍の小中学校へのアカウントの依頼、配架本の増冊などの依頼など協議中</p>
--	--	--	--	--

2	人権教育・啓発の推進	    	中間点検(9月)	実績(3月)
---	------------	--	----------	--------

運営目標 ①	<p><b>【施策】</b>  あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b>  ○人権教育を通じた、人権意識の向上</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>  ①市民人権研修会の開催 年2回開催  ②各地区公民館での人権研修会 10回  ③地区公民館での人権研修のプログラム作成及び講師派遣  ④人権教育を推進する指導者の育成及び資質向上を図るとともに、市民・団体等に対し、あらゆる場を通じて人権教育・啓発を図る。</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>  ○人権教育を通じた、人権意識の向上</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>  ①市民人権研修会の開催  ・第1回 6月16日 開催  ・第2回 10月21日 開催  ②各地区公民館での人権研修会(再掲)  ・1回実施(宮津5地区合同開催)  ③地区公民館での人権研修のプログラム作成及び講師派遣  ・府と連携し、公民館長が講師となるように人権研修会のリーフレットの作成  ・人権指導員の講師派遣  ④人権教育を推進する指導者の育成及び資質向上を図るとともに、市民・団体等に対し、あらゆる場を通じて人権教育・啓発を図る。  ・市民人権研修会の開催への参加依頼  ・企業人権教育推進協議会の取り組み  ・研修会の開催  ・人権標語の募集</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>  ○人権教育を通じた、人権意識の向上</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>  ①市民人権研修会の開催  ・第1回 6月16日 開催  ・第2回 10月21日 開催  ②各地区公民館での人権研修会(再掲)  ・1回実施(宮津5地区合同開催)  ③地区公民館での人権研修のプログラム作成及び講師派遣：未実施  ・人権指導員の講師派遣  ④人権教育を推進する指導者の育成及び資質向上を図るとともに、市民・団体等に対し、あらゆる場を通じて人権教育・啓発を図る。  ・市民人権研修会の開催への参加依頼  ・企業人権教育推進協議会の開催 人権標語の募集  ・府中青少年育成協議会研修会  ・丹後鉄道新入職員人権研修講師派遣  ・広報みやづ「人権の窓」啓発</p>
--------	--	--	---

3 家庭や地域の教育力の向上	  	中間点検（9月）	実績（3月）
<p>運営目標 ①</p> <p><b>【施策】</b> 地域と学校の効果的な連携・協働を目指し、宮津市地域学校協働本部を設置するとともに、地域学校協働活動推進員を配置し、地域と一体となって子ども達を育む「地域とともにある学校づくり」を推進する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○地域と学校との協働活動の実施 80回/年（総計実施計画目標数値）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①学校運営協議会への参画地域等からの参画 ②地域学校協働活動推進員と連携した協働活動の支援 ③学校と地域との協働活動の実施 ④学校から家庭や地域への積極的な情報発信 ⑤大学等との連携・協働による事業実施 ⑥学校だより 毎月の発行 ⑦学院だより 3回/年の発行</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○地域と学校との協働活動の実施 80回/年（総計実施計画目標数値） 30回（9月末現在） ・宮津小マラソン大会ボランティア、授業補助ボランティア等を実施予定</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①学校運営協議会への参画、地域等からの参画 ・市内全小中学校に設置済み 自治会、公民館、PTA役員、民生児童委員ほか今後、文化団体、スポーツ団体からの参画を依頼 ②地域学校協働活動推進員と連携した協働活動の支援 ・活動推進員協議会の開催（学期に1回年3回予定） ③学校と地域との協働活動の実施 ・実施回数 30回（9月末現在） ④学校から家庭や地域への積極的な情報発信 ・「学校だより」に地域学校協働活動の活動報告を掲載 ・学校運営協議会だよりの発行 ⑤大学等との連携・協働による事業実施 ・宮津天橋高校との連携 犀川、世屋川探検への参画 次年度の取り組みの調整 （宮津小×宮津天橋高校×地域 稲作づくり） ⑥学校だより 毎月の発行 ⑦学院だより 3回/年の発行 ・栗田学院 1回発行</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○地域と学校との協働活動の実施 80回/年（総計実施計画目標数値）⇒ 74事業/年 ・宮津小マラソン大会ボランティア、授業補助ボランティア等を実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①学校運営協議会への参画、地域等からの参画 ・市内全小中学校に設置済み 自治会、公民館、PTA役員、民生児童委員ほか今後、文化団体、スポーツ団体からの参画を依頼 ②地域学校協働活動推進員と連携した協働活動の支援 ・活動推進員協議会の開催（学期に1回年3回予定） ③学校と地域との協働活動の実施 ・実施回数 1055回 ④学校から家庭や地域への積極的な情報発信 ・「学校だより」に地域学校協働活動の活動報告を掲載 ・学校運営協議会だよりの発行 ⑤大学等との連携・協働による事業実施 ・宮津天橋高校との連携 犀川、世屋川探検への参画 次年度の取り組みの調整 （宮津小×宮津天橋高校×地域 稲作づくり） ⑥学校だより 毎月の発行:未実施 ⑦学院だより 3回/年の発行 ・栗田学院 2回発行</p>	
4 ふるさとみやづ学の構築 （生涯にわたるシビックプライドの育成）	  	中間点検（9月）	実績（3月）
<p>運営目標 ①</p> <p><b>【施策】</b> 宮津への理解と愛着を深めていくための「ふるさとみやづ学」を構築するために、公民館、すこやか大学、小中学生など幅広く市民を対象に「ふるさとみやづ」を題材とした学習機会を提供する。 また、小学生対象に「子ども学芸員」の認定制度を導入する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○ふるさとみやづ学の構築</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①公民館での講座の開催 年4回 ②すこやか大学での講座の開催 年1回 ③図書館講座での開催 年1回 ④天橋立を題材とした、講演、現地ウォークなどの開催 ⑤こども学芸員の実習や認定制度の構築に向けた検討</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○ふるさとみやづ学の構築</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①公民館での講座の開催 年4回 ・各地区公民館事業にて実施 10回 （学芸員による歴史ウォーキングなど） ②すこやか大学での講座の開催 年1回 ・天橋立を題材とした俳句会の開催 10月12日・20日 開催 ③図書館講座での開催 年1回 ・2月～3月開催予定 ④天橋立を題材とした、講演、現地ウォークなどの開催 ・11月20日実施予定 ⑤こども学芸員の実習や認定制度の構築に向けた検討</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○ふるさとみやづ学の構築</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①公民館での講座の開催 ・各地区公民館事業にて実施 18回 （学芸員による歴史ウォーキングなど） ②すこやか大学での講座の開催 年1回 ・天橋立を題材とした俳句会の開催 10月12日・20日 開催 ③図書館講座での開催 年1回 ・100周年記念講演の開催 ④天橋立を題材とした、講演、現地ウォークなどの開催 ・11月20日実施 ⑤こども学芸員の実習や認定制度の構築に向けた検討</p>	

②	<p><b>【施策】</b> 「ふるさとみやづ学」に係る歴史コンテンツの作成や学習機会の充実 ・「ふるさとみやづ学」の構築に向けて、市内各地域の歴史文化資源の魅力のストーリー化、コンテンツ化をすすめるとともに、学校教育、社会教育と連携の上、幅広い世代に、造成したコンテンツを活用した学習の機会を充実する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○児童生徒を対象とした歴史学習の機会実現（座学・現地講座等） 3回以上（1単元×延べ3回） ○一般成人を対象とした歴史学習の機会実現（座学・現地講座等） 4回以上</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①学校等との協議連携 ②社会教育関係団体等との協議連携 ③府立丹後郷土資料館、歴史館など資料館施設等の連携 ④当市の歴史文化に係る映像コンテンツやパンフレット資料等の有効活用</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○児童生徒を対象とした歴史学習の機会実現 指標 3回以上 実績 ・講師派遣等 1回（5月 栗田中 野外活動） ・ふるさと学習に係る企画協力。相談（随時） ○一般成人を対象とした歴史学習の機会実現 指標 4回以上 実績 ・主催事業 7回（名勝100年関連講座） ・団体への講師派遣 5回以上</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①学校等との協議連携 ・校園長会での報告（随時）、研修会（6月） ・ふるさと学習（学校）の実施・企画協力（随時） ②社会教育関係団体等との協議連携 ・団体主催のまち歩き企画等への講師派遣（随時） 東部・城南部公民館事業 5回 ほか ③R3作成の映像コンテンツやパンフレット資料等の有効活用 ・映像コンテンツの配信、民間サイネージでの上映 ・映像でみる天橋立講座開催（7～8月 3回） ・文景・城下町パンフの学習活動への利用</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○児童生徒を対象とした歴史学習の機会実現 指標 3回以上 実績 ・講師派遣等 4回 （栗田中・宮津高・府中小・宮津小 各1回） ・ふるさと学習に係る企画協力。相談（随時） ○一般成人を対象とした歴史学習の機会実現 指標 4回以上 実績 ・主催事業 7回（名勝100年関連講座） ・団体への講師派遣 11回 （公民館6・商工会議所1 ほか）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①学校等との協議連携 ・校園長会での報告（随時）、研修会（6月） ・ふるさと学習（学校）の実施・企画協力（随時） ②社会教育関係団体等との協議連携 ・団体主催のまち歩き企画等への講師派遣（随時） 東部・城南部公民館事業 5回 ほか ③R3作成の映像コンテンツやパンフレット資料等の有効活用 ・映像コンテンツの配信、民間サイネージでの上映 ・映像でみる天橋立講座開催（7～8月 3回） ・文景・城下町パンフの学習活動への利用</p>
③	<p><b>【施策】</b> 「ふるさとみやづ学～高校生立志編～」の実施 ・市内高校と連携し、市長との対話を通じ、高校生が自ら考え、学び、市への提言を行うことにより、ふるさとみやづへの想いを深める活動を実施する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○高校生立志編の実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①高校との連携 ②高校生の支援 ③市内3高校の参加 ④市長との対談、市との連携（高校生の課題への協力、助言）、市長への提言</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○高校生立志編の実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①高校との連携 ・市内3校の連携に向けた調整会議の実施 ②高校生の支援 「廃校活用プロジェクト」「フォトコンテスト」（企画課）の開催に向けた支援 ・高校生と地域（公民館・地元団体）との調整 上宮津地区自治連、地域会議、公民館と高校生との調整 3回 ③市内3高校の参加 ・宮津天橋高校、海洋高校については、参加 ・暁星高校については、次年度参加に向けて調整中 ④市長との対談、市との連携（高校生の課題への協力、助言）、市長への提言 7月21日 市長との対談、天橋高校8名 （海洋高校生出席できず） 9月21日 海洋高校にて、市長講話及び趣旨説明8名 12月 提言発表予定</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○高校生立志編の実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①高校との連携 ・市内3校の連携に向けた調整会議の実施 ②高校生の支援 「廃校活用プロジェクト」「フォトコンテスト」（企画課）の開催に向けた支援 ・高校生と地域（公民館・地元団体）との調整 上宮津地区自治連、地域会議、公民館と高校生との調整 3回 ③市内3高校の参加 ・宮津天橋高校、海洋高校については、参加 ・暁星高校については、次年度参加に向けて調整中 ④市長との対談、市との連携（高校生の課題への協力、助言）、市長への提言 7月21日 市長との対談、天橋高校8名 （海洋高校生出席できず） 9月21日 海洋高校にて、市長講話及び趣旨説明8名 3月24日 市長への提言・プレゼン実施</p>

	<p><b>【施策】</b> 成人年齢の引き下げに伴い、従来の「成人式」を見直し、20歳の年齢でふるさとみやづを再認識する機会として「二十歳のつどい」（仮称）を開催し、官津を担う人材を育成する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○「二十歳のつどい」（仮称）の開催（令和5年1月8日）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①実施内容の構築 ふるさとをテーマにした展示 小中学校のふるさとみやづ学の取り組みの発表等 ② 実行委員会の立ち上げ ③ 実行委員会にて、実施内容の協議、検討</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○「二十歳のつどい」（仮称）の開催（令和5年1月8日）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①実施内容の構築 ふるさとをテーマにした展示 小中学校のふるさとみやづ学の取り組みの発表等 ・各課への協力依頼 定住、就職、各担当部局に参画依頼 ・ファウンディングベース社へ協力依頼 実行委員会への助言 企画展示等への参画（取り組みの報告など） ②実行委員会の立ち上げ ・10月委員選任 ③実行委員会にて、実施内容の協議、検討 ・11月から協議開始 展示内容 出展者等の協議</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○「二十歳のつどい」の開催（令和5年1月8日に開催）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①実施内容の構築 ふるさとをテーマにした展示 ・各地区公民館の活動紹介 ・各課への協力依頼 定住、就職、各担当部局に参画依頼 ・ファウンディングベース社へ協力依頼 実行委員会への助言 企画展示等への参画（取り組みの報告など） ②実行委員会の立ち上げ ・10月委員選任 ③実行委員会にて、実施内容の協議、検討 ・11月から協議実施 展示内容 出展者等の協議</p>
--	--	--	---

5	質の高い学力を育成する	 	中間点検（9月）	実績（3月）
---	-------------	---	----------	--------

運営目標	<p><b>【施策】</b> 基礎・基本の徹底、論理的思考力や表現力の育成、ICTを活用した学習意欲の喚起、個別最適な学びと協働的な学びの実現を推進する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学）全国平均以上 〔 R 3（市：全国） 小6（国語 67.0：64.7 算数 70.0：70.2） 中3（国語 60.0：64.6 数学 55.0：57.2） 〕 ○語彙力向上を目指す「日本漢字能力検定」の活用 合格率80%以上 小学4年・6年指定、小学6年生の5級保有率 72%⇒80% ○英語力を高める「英語検定」の活用 合格率80%以上 中学1年・3年指定、中学3年生の3級保有率 30%⇒50%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①算数学び定着サポーター兼 ICT 支援員の配置 6小学校 3・4年生 ②AI ドリルの日常的な活用 全小中学校で活用 ③吉津小「学びの深化プロジェクト」研究成果の共有 研究発表会への参加、他校への波及 ④府中小「絆の作り手育成プログラム」研究成果の共有 研究発表会への参加、他校への波及 ⑤英語教育の充実 専科教員、ALT の配置 英語で学ぶ教科・テーマ学習の導入 ⑥授業と家庭学習を効果的につなげる授業改善の研究・実践 タブレットを活用したオンライン授業の研究・改善 GIGA スクール構想推進プロジェクト会議の開催 2回/年 教師指導力を高めるための Teams を用いた日常的な交流</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○全国学力・学習状況調査 全国平均以上 R 4（市：全国） 小6（国語 62.0：65.6 算数 59.0：63.2 理科 61.0：63.3） 中3（国語 70.0：69.0 数学 51.0：51.4 理科 54.0：49.3） ○「日本漢字能力検定」の活用 ○「英語検定」の活用</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①算数学び定着サポーター 2名の配置 6小学校 3・4年生 ②AI ドリルの日常的な活用 全小中学校で活用 学力テストと連動させた AI ドリルの活用研修 7月4日 ③吉津小「学びの深化プロジェクト」研究成果 令和4年度研究発表 10月28日 ④府中小「絆の作り手育成プログラム」研究成果 令和4年度研究発表 11月30日 ⑤英語教育の充実 英語専科教員、ALT の配置 選択英語の実施について教委、中学校打合せ 8月23日 ⑥授業と家庭学習を効果的につなげる授業改善の研究・実践 タブレットを活用したオンライン授業の研究・改善 GIGA スクール構想推進プロジェクト会議の開催 2回/年 府教委・関大初等部と連携した STEAM 教育セミナーの開催 8月26日 関大初等部によるワークショップ 11月15日 関大初等部の視察（学校公開日） 12月2日</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○全国学力・学習状況調査 全国平均以上 R 4（市：全国） 小6（国語 62.0：65.6 算数 59.0：63.2 理科 61.0：63.3） 中3（国語 70.0：69.0 数学 51.0：51.4 理科 54.0：49.3） ○「日本漢字能力検定」の活用 合格率82% ○「英語検定」の活用 合格率72%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①算数学び定着サポーター2名の配置 6小学校 3・4年生 ②AI ドリルの日常的な活用 全小中学校で活用 学力テストと連動させた AI ドリルの活用研修 7月4日 ③吉津小「学びの深化プロジェクト」研究成果 令和4年度研究発表 10月28日 ④府中小「絆の作り手育成プログラム」研究成果 令和4年度研究発表 11月30日 ⑤英語教育の充実 英語専科教員、ALT の配置 選択英語の実施について教委、中学校打合せ 8月23日 ⑥授業と家庭学習を効果的につなげる授業改善の研究・実践 タブレットを活用したオンライン授業の研究・改善 GIGA スクール構想推進プロジェクト会議の開催 3月3日 実践報告、ワークショップほか 府教委・関大初等部と連携した STEAM 教育セミナーの開催 8月26日 関大初等部によるワークショップ（於：吉津小） 11月15日</p>
------	---	---	--

	<p>⑦児童生徒の実態や発達段階に応じた情報モラル教育の推進        ⑧高等学校等との連携・協働（宮津天橋高校、海洋高校ほか）        ⑨大学等との連携・協働（京都府立大、京都教育大、佛教大、龍谷大ほか）</p>	<p>ライフイズテックレッスン「オリジナルWeb サイト制作」に関する説明会の開催 10月6日        教師指導力を高めるための Teams を用いた日常的な交流        ⑦児童生徒の実態や発達段階に応じた情報モラル教育の推進        サイバーセキュリティ対策研修 11月1日        ⑧高等学校等との連携・協働（宮津天橋高校、海洋高校ほか）        ・夏季期間中、高校生が小学校の補習学習 6小学校（府教委 プラスワンスタディ事業）        ・英語教育充実連携推進協働        「英語で学ぶ」体験活動 実践に向けて打合せ        ・宮津市教育フォーラム（令和5年1月28日開催）への参加        フリートーク「学校で学びたいこと、地域で学びたいこと」        —子どもの声を聞く—        聞き手 京都府立大 教授（副学長）        発言者 小学校児童、中学校生徒        市内3高等学校生徒        ⑨大学等との連携・協働（京都府立大、京都教育大、佛教大、龍谷大ほか）        コミュニケーション教育の視察、研修等        芸術文化観光専門職大学 平田学長        豊岡市教育委員会子ども教育課        STEAM 教育実践研究        関西大学初等部、京都府教育委員会との連携</p>	<p>関大初等部の視察（学校公開日） 12月2日        ライフイズテックレッスン「オリジナルWeb サイト制作」に関する説明会の開催 10月6日        教師指導力を高めるための Teams を用いた日常的な交流        ⑦児童生徒の実態や発達段階に応じた情報モラル教育の推進        サイバーセキュリティ対策研修 11月1日        ⑧高等学校等との連携・協働（宮津天橋高校、海洋高校ほか）        ・夏季期間中、高校生が小学校の補習学習 6小学校（府教委 プラスワンスタディ事業）        ・英語教育充実連携推進協働        「英語で学ぶ」体験活動 打合せ、試行        ・宮津市教育フォーラム（令和5年1月28日開催）開催        フリートーク「学校で学びたいこと、地域で学びたいこと」        —子どもの声を聞く—        聞き手 市教委 総括指導主事、指導主事        発言者 小学校児童、中学校生徒        市内3高等学校生徒        ⑨大学等との連携・協働（京都府立大、京都教育大、佛教大、龍谷大ほか）        コミュニケーション教育の視察、研修等        芸術文化観光専門職大学 平田オリザ学長        豊岡市教育委員会子ども教育課との連携        STEAM 教育実践研究        関西大学初等部、京都府教育委員会との連携</p>
--	--	--	---

6	たくましい身体を育成する	 	中間点検（9月）	実績（3月）
---	--------------	---	----------	--------

運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b>        学校給食の運営と食育の推進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b>        ○健康を守るための栄養についての知識を身に付け、望ましい食習慣の形成</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>        ①望ましい食習慣の育成のため「食に関する授業」を実施        食育・給食巡回指導 60回（10学校・園×3学期×2回）        ②学校給食委員会の活動充実        宮津を食べようコンテストの実施        「もぐもぐだより」の発行        ③地域の食材を使った「みやづ食の日」の設置 9回/年        ④給食食べ残しの削減 R3 0.37g/人・日 ➡ 0.20g/人・日</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>        ○健康を守るための栄養についての知識を身に付け、望ましい食習慣の形成</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>        ①望ましい食習慣の育成のため「食に関する授業」を実施        各校（園）へ3人の栄養教諭が食育・給食巡回        ・32回（R4.9末時点）        ②学校給食委員会の活動充実        ・7月13日付けで、宮津を食べようコンテストの作品募集を全小学校に通知。11月30日を提出期限。        ・もぐもぐだよりNo.1～No.7まで発行        ③地域の食材を使った「みやづ食の日」の設置        ・5月、6月、7月、9月の4回実施（R4.9末時点）        ④給食食べ残しの削減        ・4.5g/人・日（R4.9末時点）</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>        ○健康を守るための栄養についての知識を身に付け、望ましい食習慣の形成</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>        ①望ましい食習慣の育成のため「食に関する授業」を実施        各校（園）へ3人の栄養教諭が食育・給食巡回        ・71回        ②学校給食委員会の活動充実        ・宮津を食べようコンテストの実施（小学校から8作品提出）し、2月に最優秀作品の給食を提供。        また、宮津を食べようコンテストギャラリーを開催        ・もぐもぐだよりNo.1～No.16まで発行        ③地域の食材を使った「みやづ食の日」の設置        ・年間9回実施        ・「みやづ食の日」に合わせた動画を作成し、給食時間に視聴        ④給食食べ残しの削減        ・4.9g/人・日</p>
------	--	---	---

	②	<p><b>【施策】</b> 自らの生命と安全を確保するための安全教育・防災教育の徹底</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○通学路危険個所の解消（R3年度抽出：37箇所） ○児童生徒の交通事故、重災害事故の減少 R3 交通事故 4件 重災害事故 10件</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①薬物乱用防止教室の開催 ②児童生徒の専門医検診の実施 ③避難訓練の実施 ④学校施設の定期的な点検 ⑤通学路の安全点検の実施、通学路安全推進協議会の開催（年2回） ⑥見守り隊（地域との協働） ⑦スクールガードリーダーの配置</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○通学路危険個所の解消（R3年度抽出：37箇所） ○児童生徒の交通事故、重災害事故の減少 R4.9現在 交通事故 1件 重災害事故 3件</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①薬物乱用防止教室の開催 ②児童生徒の専門医検診の実施 ③避難訓練の実施 ④学校施設の定期的な点検 ⑤通学路の安全点検の実施、通学路安全推進協議会の開催 →今後、実施・開催 ⑥見守り隊（地域との協働） ⑦スクールガードリーダー 2名の配置</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○通学路危険個所の解消（R3年度抽出：37箇所） ○児童生徒の交通事故、重災害事故の減少 交通事故 1件 重災害事故 7件</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①薬物乱用防止教室の開催 ②児童生徒の専門医検診の実施 ③避難訓練の実施 ④学校施設の定期的な点検 ⑤通学路の安全点検の実施、通学路安全推進協議会の開催 ⑥見守り隊（地域との協働） ⑦スクールガードリーダー 2名の配置</p>
7	教育環境を充実する	 	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	①	<p><b>【施策】</b> これからの時代に求められる学校・学校施設等のあり方検討</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○あり方について検討委員会を開催し、答申を受ける</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①あり方検討委員会の設置 ②あり方検討委員会の開催 4回</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○学校施設等の在り方検討委員会設置、運用</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> 8/9 あり方検討委員会の設置、第1回検討委員会 ・要綱設置 ・諮問 8/22 教育懇話会（福祉・教育総合プラザ） 9/9 教育懇話会（府中地区公民館） 9/29 第2回検討委員会 ・協議、意見交換</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○学校施設等の在り方検討委員会設置、運用</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> 8/9 あり方検討委員会の設置、第1回検討委員会 ・要綱設置、諮問 8/22 教育懇話会（福祉・教育総合プラザ） 9/9 教育懇話会（府中地区公民館） 9/29 第2回検討委員会 ・協議、意見交換 10/24・10/29 第3回検討会 ・提言書の骨子案 11/16-23 学校教育・幼児教育に関するアンケート 11/29 第4回検討委員会 ・提言書の素案 12/17 答申 提言書の提出</p>
	②	<p><b>【施策】</b> のびのび放課後児童クラブの運営</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○4のびのび放課後児童クラブの安全・安心な運営</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①高校、大学等と連携した体験・学習活動の充実を支援 ②指導員の研修会、交流会の開催 全体研修会の開催</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○4のびのび放課後児童クラブの安全・安心な運営 宮津のびのび放課後児童クラブ民間委託 R4.4.1～</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①高校、大学等と連携した体験・学習活動の充実を支援 →今後の取り組み ②指導員の研修会、交流会の開催 全体研修会の開催 →今後の取り組み</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○4のびのび放課後児童クラブの安全・安心な運営 宮津のびのび放課後児童クラブ民間委託 R4.4.1～</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①高校、大学等と連携した体験・学習活動の充実を支援 →今後の取り組み ②指導員の研修会、交流会の開催 全体研修会の開催 →2/1 京都府・宮津市合同職員資質向上研修 「遊びの理解と支援・コロナ禍での遊び」</p>



		<p>③のびのび放課後児童クラブ利用料の滞納対策 R 3 滞納繰越見込 500,000 円 (110 件) R 4 収納率目標：現年 100%、滞納 30%</p>	<p>③のびのび放課後児童クラブ利用料の滞納対策 R 3 未収額 現年度分 66,000 円 ( 17 件) 繰越分 500,000 円 (145 件) R 4 収納率目標：現年 100%、滞納 30% 9 月末時点：現年 85.9%、滞納 6.0%</p>	<p>③のびのび放課後児童クラブ利用料の滞納対策 R 3 未収額 現年度分 66,000 円 ( 17 件) 繰越分 500,000 円 (145 件) R 4 収納率目標：現年 100%、滞納 30% 3 月末時点：現年 90.2%、滞納 6.0%</p>
	③	<p><b>【施策】</b> 教職員の働き方改革</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○時間外勤務時間の縮減 ○高ストレス者の縮減 R 3 :15 名 (11%)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①教員業務支援員 (スクール・サポート・スタッフ) の配置 ②「出退勤時刻記録システム」による個々の教職員の勤務時間の把握 時間外勤務の縮減 R3 1 か月 60 時間以内 67% 1 か月 45 時間以内 50% ③宮津市一斉退勤日の取組と各校の校内働き方改革推進委員会を中心とした働き方改革の取組の推進 ④部活動方針に基づく取組の徹底 (原則日曜日の休部、部活動 2 時間以内など)</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○時間外勤務時間の縮減 ○高ストレス者の縮減 R 3 :15 名 (11%) R 4 :10 名 ( 8%)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①教員業務支援員 (スクール・サポート・スタッフ) の配置 4 小学校 3 名、1 中学校 2 名 ②「出退勤時刻記録システム」による個々の教職員の勤務時間の把握 時間外勤務の縮減 R4. 8 時点 1 か月 60 時間以内 58% 1 か月 45 時間以内 37% ③宮津市一斉退勤日の取組と各校の校内働き方改革推進委員会を中心とした働き方改革の取組の推進 ④部活動方針に基づく取組の徹底 (原則日曜日の休部、部活動 2 時間以内など) 部活動指導員の配置 宮津中 1 名 (吹奏楽部) 栗田中 1 名 (ソフトテニス部)</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○時間外勤務時間の縮減 ○高ストレス者の縮減 R 3 :15 名 (11%) R 4 :10 名 ( 8%)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①教員業務支援員 (スクール・サポート・スタッフ) の配置 4 小学校 3 名、1 中学校 2 名 ②「出退勤時刻記録システム」による個々の教職員の勤務時間の把握 時間外勤務の縮減 1 か月 60 時間以内 62% 1 か月 45 時間以内 40% ③宮津市一斉退勤日の取組と各校の校内働き方改革推進委員会を中心とした働き方改革の取組の推進 ④部活動方針に基づく取組の徹底 (原則日曜日の休部、部活動 2 時間以内など) 部活動指導員の配置 宮津中 1 名 (吹奏楽部) 栗田中 1 名 (ソフトテニス部)</p>
運営目標	④	<p><b>【施策】</b> 不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立の促進 いじめや暴力行為、不登校の未然防止・早期発見・早期対応</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○不登校児童生徒の縮減、希望進路の達成 ○いじめ事象認知件数の縮減</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①学校等と連携した教育相談室「こころのまど」運営 相談員の学校訪問 ②適応指導教室「こころのひろば」運営 不登校児童生徒支援拠点整備事業によるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の居場所サポーターの配置 (各週 1 回、1 回 4 時間) ③いじめ防止対策の推進 いじめ調査の実施、分析 いじめ防止対策委員会の開催</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○不登校児童生徒の縮減、希望進路の達成 ・小学校 1 学期 10 日以上欠席児童 前年比 10 人増 出現率 2.57% ・中学校 1 学期 10 日以上欠席生徒 前年比 1 人増 出現率 4.04% ○いじめ事象認知件数の縮減 ・小学校 1 学期認知件数 前年比 5 件増 発生率 21.4% ・中学校 1 学期認知件数 前年比 11 件減 発生率 8.9%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①学校等と連携した教育相談室「こころのまど」運営 相談員の学校訪問 ②適応指導教室「こころのひろば」運営 不登校児童生徒支援拠点整備事業によるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の居場所サポーターの配置 (各週 1 回、1 回 4 時間) ③いじめ防止対策の推進 いじめ調査の実施、分析 いじめ防止対策委員会の開催 8 月 19 日</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○不登校児童生徒の縮減、希望進路の達成 ・小学校 30 日以上欠席児童 前年比 7 人増 出現率 2.87% ・中学校 30 日以上欠席生徒 前年比 4 人増 出現率 5.52% ○いじめ事象認知件数の縮減 ・小学校認知件数 94 件 前年比 14 件増 発生率 14.3% ・中学校認知件数 16 件 前年比 6 件減 発生率 5.9%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①学校等と連携した教育相談室「こころのまど」運営 相談員の学校訪問 ②適応指導教室「こころのひろば」運営 不登校児童生徒支援拠点整備事業によるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の居場所サポーターの配置 (各週 1 回、1 回 4 時間) ③いじめ防止対策の推進 いじめ調査の実施、分析 いじめ防止対策委員会の開催 8 月 19 日</p>

	⑤	<p><b>【施策】</b> 新型コロナウイルス感染防止を徹底し、児童生徒の安全安心な学校生活と持続的な教育活動体制を構築する</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○学校・園における感染を防ぎ、安全・安心な学習環境の整備 ○児童生徒や保護者等の不安に寄り添う相談・支援体制の確保 ○登校ができない場合の学習保障</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①最新の知見を踏まえた感染症対策の学校・園への指導・助言 ②スクールカウンセラー、学び生活アドバイザー等の効果的な活用 ③授業と家庭学習を効果的につなげる授業改善の研究・実践【再掲】 タブレットを活用したオンライン授業の研究・改善 GIGA スクール構想推進プロジェクト会議の開催 2回/年 教師指導力を高めるための Teams を用いた日常的な交流</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○学校・園の感染拡大防止、安全・安心な学習環境の整備 ○児童生徒や保護者等の不安に寄り添う相談・支援体制 ○登校ができない場合のオンライン学習等</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①感染症対策の学校・園への指導・助言 ②スクールカウンセラー 4名 学び生活アドバイザー 2名 等の活用 ③授業と家庭学習を効果的につなげる授業改善の研究・実践 タブレットを活用したオンライン授業等学習の保障</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○学校・園の感染拡大防止、安全・安心な学習環境の整備 ○児童生徒や保護者等の不安に寄り添う相談・支援体制 ○登校ができない場合のオンライン学習等</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①感染症対策の学校・園への指導・助言 ②スクールカウンセラー 4名 学び生活アドバイザー 2名 等の活用 ③授業と家庭学習を効果的につなげる授業改善の研究・実践 タブレットを活用したオンライン授業等学習の保障</p>
8	歴史文化資源の調査・価値づけ・保存	  	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	①	<p><b>【施策】</b> 文化財保護活用のマスタープランとなる「宮津市文化財保存活用地域計画」の原案作成 ・「宮津市文化財保存活用地域計画」の令和5年度中の文化庁計画認定に向けて、計画原案を作成する。計画作成にあたっては、「宮津市文化財保存活用地域計画策定協議会」における検討を主体に、市民や関連団体等の意見を広く聴取し、計画に盛り込む。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○「宮津市文化財保存活用地域計画」の原案作成</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①文化財保存活用地域計画策定協議会における計画の審議検討 ②市民等に幅広く意見を聞く機会の設定（パブコメ他）</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○「宮津市文化財保存活用地域計画」の原案作成 達成率≒50%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①文化財保存活用地域計画策定協議会における計画の審議検討 ・係員による調査検討・原稿執筆作業（4月～継続中） ・策定委員会有識者委員との協議（5月） ・「策定協議会」の開催（1回、9月） ・文化庁担当者との協議・ヒアリング（1回、9月） ②市民等に幅広く意見を聞く機会の設定（パブコメ他） ・「策定協議会委員」の意見徴収（今後の予定） ・実施計画に係る庁内ほか協議（11月～随時） ・パブリックコメントの実施（1～2月） ・「策定検討協議会」の開催（2回 12月・3月）</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○「宮津市文化財保存活用地域計画」の原案作成 達成率≒80%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①文化財保存活用地域計画策定協議会における計画の審議検討 ・係員による調査検討・原稿執筆作業（4月～継続中） ・「策定協議会」の開催（9・2月） ・文化財保護審議会での検討（3月） ・文化庁担当者との協議・ヒアリング（9月・11月・3月） ・一部図面の作成委託（12～3月） ②市民等に幅広く意見を聞く機会の設定（パブコメ他） 未実施→R5年6月予定 ・「策定協議会委員」の意見徴収</p>
	②	<p><b>【施策】</b> 文化的景観の保全に係る「重要な構成要素」の整備事業支援 ・国選定「宮津天橋立の文化的景観」の保全に係り、「重要な構成要素」である建造物の整備事業支援を行う。</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○重要な構成要素（2件）の設計及び整備事業の実施 達成率≒50% ※予定事業2件のうち、丹海棧橋整備工事は中止。</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○重要な構成要素（2件）の設計及び整備事業の実施 達成率≒100% ※予定事業2件のうち、丹海棧橋整備工事は中止。</p>

		<p><b>【達成すべき指標】</b> ○重要な構成要素(2件)の設計及び整備事業の実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①文化的景観検討委員会による整備計画の審議検討 ②実施事業者への支援、関係機関との調整</p>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①文化的景観検討委員会による整備計画の審議検討 ・「検討委員会」の開催・説明 ②実施事業者への支援、関係機関との調整 ・文景 R5 事業計画の関係者協議 (今後の予定) ・R4 事業の整備事業(溝尻舟屋設計)の実施 (R4 に実施設計、R5 に工事実施予定)</p>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①文化的景観検討委員会による整備計画の審議検討 ・「検討委員会」の開催・説明 ②実施事業者への支援、関係機関との調整 ・溝尻舟屋実施設計(市補助交付) ・丹海棧橋整備の計画再検討・調整</p>
	③	<p><b>【施策】</b> 市内の重要遺跡の一つである「安国寺遺跡」の発掘調査の実施 ・古代丹後府中や中世の安国寺の候補地である「安国寺遺跡」の発掘調査を継続して実施(H28～R5年度)し、遺跡の価値や重要性を明らかにする。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○発掘調査の実施と遺跡の価値の評価</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①発掘調査委員会による調査計画と調査成果の審議検討 ②調査成果報告のための現地説明会の開催</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○発掘調査の実施と遺跡の価値の評価 達成率≒10%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①発掘調査委員会による調査計画と調査成果の審議検討 ・調査委員会の開催(9月)→調査計画に反映 ・現地調査開始(10～12月予定) ②調査成果報告のための現地説明会の開催 ・現地調査終了後開催予定(12月)</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○発掘調査の実施と遺跡の価値の評価 達成率≒80%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①発掘調査委員会による調査計画と調査成果の審議検討 現地調査実施(10～12月) ・調査委員会の開催(12月) →検出遺構の評価・調査計画の見直し ・出土遺物・図面の整理(1～3月) ②調査成果報告のための現地説明会の開催 ・府中小対象の見学会を開催(12月) (一般対象の説明会は未実施)</p>
9	歴史文化を学び親しむ機会の創出	  	中間点検(9月)	実績(3月)
運営目標	①	<p><b>【施策】</b> 文化観光と連携した旧三上家住宅の保存活用 ・文化観光にも資するよう、旧三上家住宅においてWEBを用いた情報発信や、ユニークベニュー活用事業などを、指定管理者や関係団体とも連携協力の上、実証実験として実施する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ○来館者の増加や満足度向上につながる新たなサービス・コンテンツ等の開発</p> <p>・今後継続実施が可能なサービス・コンテンツ 3件 ・来館者数 4,000人(R1年)⇒5,000人</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①指定管理者に対する支援 ②夜間開館(ライトアップ)の実施 ③ユニークベニュー活用事業(イベント等)の実施 ④情報発信・プロモーションの充実 ⑤関係機関・団体との連携強化</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○来館者の増加や満足度向上につながる新たなコンテンツ 開発件数 目標3件 実績2件(カフェ、継続的な夜間イベント) ○来館者数 目標5,000人 R4年度9月末時点入館者数(延べ) 観覧者数 1,344人 イベント等参加者 約300人 (R1年度 同時期2,055人 年度計3,963人)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①指定管理者主による自主事業展開 ・カフェスペースのオープン(5月～) ・夜間開館(ライトアップ)の実施 ・夜間イベント(音楽コンサート・軽食提供)の開催 (4月～月1回ペース) (今後の予定) ・指定管理者によるカフェ、夜間イベントの継続実施 ・プロモーションビデオの作成</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ○来館者の増加や満足度向上につながる新たなコンテンツ 開発件数 目標3件 実績3件【達成】 (カフェ、継続的な夜間イベント、宮津おどり披露) ○来館者数 目標5,000人【未達 63%】 R4年度入館者数(延べ) 観覧者数 2,373人 イベント等参加者 約800人 (R1年度 年度計3,963人)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①指定管理者主による自主事業展開 ・カフェスペースのオープン(5月～3月) ・外観ライトアップの実施(通年) ・夜間イベント(音楽コンサート・軽食提供)の開催 (4月～3月 9回) ・SNS等による継続的な情報発信 ②観光誘客・宣伝活動 ・プロモーションビデオの作成(2本) ・DMOとの連携(モニターツアー開催)</p>

	<p>②</p> <p><b>【施策】</b>  天橋立の価値や魅力の啓発・世界遺産登録の推進  ・天橋立世界遺産登録に向け、天橋立を未来に継承していくための機運醸成のため、「天橋立名勝100年・特別名勝70年」の記念事業を展開する。地域住民や関係団体と連携の上、座学、フィールドワークを問わず、様々な形でふるさと宮津の歴史文化を学び親しむ機会を創出する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b>  ○天橋立の価値や世界遺産登録機運醸成に係る講座等の参加者数 延べ人数 1,000人以上  ○世界遺産暫定一覧表（国内暫定リスト）への記載</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>  ①「天橋立名勝100年・特別名勝70年」記念事業の展開  ②天橋立を世界遺産にする会への活動支援  ③天橋立の価値や世界遺産登録機運醸成に係る講座等の実施  ④京都府ほか関係機関、市民団体、事業者等との連携  ⑤府立丹後郷土資料館、歴史館など資料館施設等の連携  ⑥橋立の歴史文化に係る映像コンテンツやパンフレット資料等の有効活用  ⑦世界遺産登録に向けた戦略の検討・策定</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>  ○講座等の参加者数 目標 延べ人数 1,000人以上  実績 約470人（世界遺産講座4回 ほか）  ○世界遺産暫定一覧表（国内暫定リスト）への記載 未達成（R7まで）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>  ①「天橋立名勝100年・特別名勝70年」記念事業の展開  ・記念事業の取りまとめ、発信等  ・のぼり、グッズ等（手ぬぐい）製作  ②記念事業、講座等の開催（市教委所管分）  ・世界遺産映像講座（4回 7月 延べ40人）   ・映像で見る天橋立（3回 7～8月 延べ30人）  ・世界遺産講座（4回 9～10月 延べ400人）  ③映像コンテンツの利用  ・市HP、民間のサイネージ等での公開  （今後の予定）  ・特別名勝70年記念シンポの開催（11/19）  ・国際カンファレンスの開催（2/3）</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>  ○講座等の参加者数 目標 延べ人数 1,000人以上  <b>【未達成】</b>  実績 約600人（世界遺産講座・記念シンポ等）  ○世界遺産暫定一覧表（国内暫定リスト）への記載  <b>【未達成】</b>  未達成（R7まで）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>  ①「天橋立名勝100年・特別名勝70年」記念事業の展開  ・記念事業の取りまとめ、発信等  ・のぼり、グッズ等（手ぬぐい）製作  ②記念事業、講座等の開催（市教委所管分）  ・世界遺産映像講座（4回 7月 延べ40人）  ・映像で見る天橋立（3回 7～8月 延べ30人）  ・世界遺産講座（4回 9～10月 延べ400人）  ・特別名勝70年記念シンポの開催（11/19 約100人）  ・記念ウォークの開催（11/20 約30人）  ・歴史館でのパネル展示・資料配架（1～3月）  ・国際カンファレンスの開催（2/3 宮津会場約15人）  ③映像コンテンツの利用  ・市HP、民間のサイネージ等での公開  ※ビューランド・汽船など協力</p>
--	---	---	---